



市の人口及び面積（令和2年3月末現在）

人口	124,603	人
世帯数	53,746	世帯
面積	87.02	km ²

※面積は10月1日現在

令和元年度うるま市の財政状況

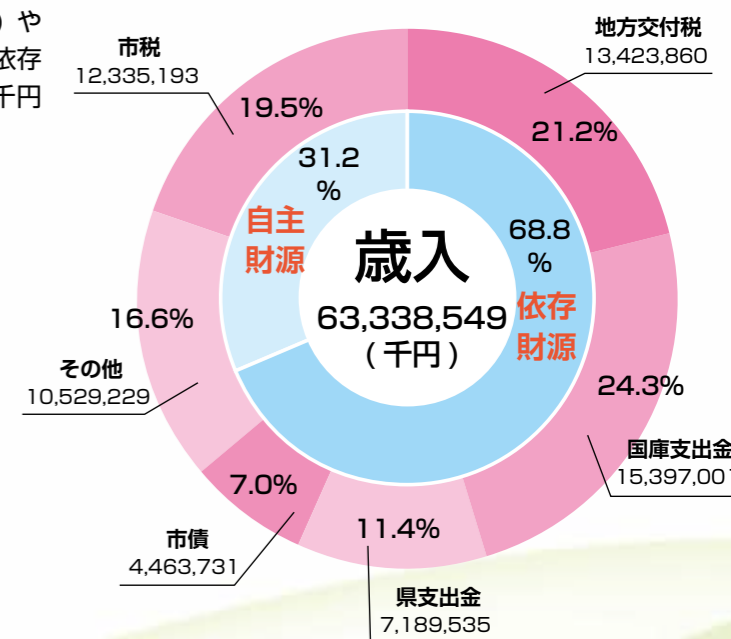
令和元年度うるま市一般会計及び特別会計の決算状況をお知らせします。

市民のみなさまが納めた税金や、国から交付される地方交付税、国や県からの補助金など、市の収入がどのような行政サービスに使われているのかをお知らせします。今後とも、市民のみなさまの市政へのご理解とご協力をお願いします。

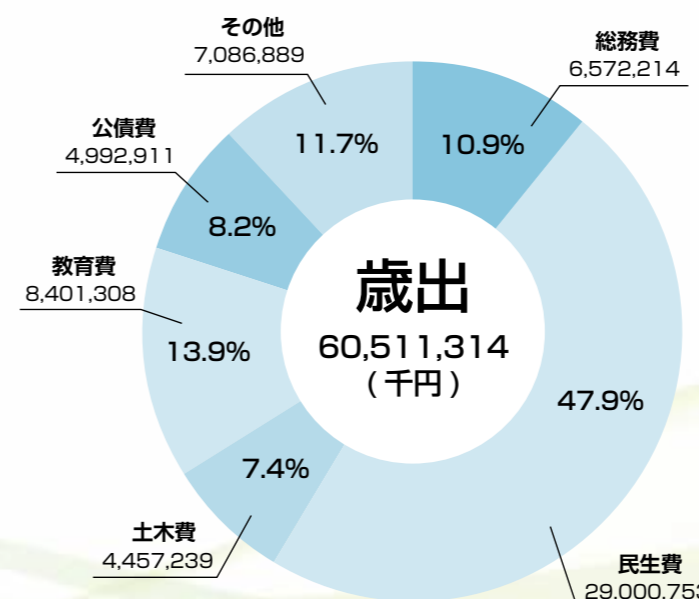
一般会計決算の概要

歳入において、自主財源である市税については123億3519万3千円(19.5%)となり、予算を上回る収入(12.2%、13億4033万の増)となりました。しかしながら、地方交付税(21.2%)や国庫支出金(24.3%)、県支出金(11.4%)など依存財源と呼ばれる収入が435億7142万1千円(68.8%)と大きな割合を占めています。

歳入決算額 633億3855万円



歳出決算額 605億1131万円



歳出においては、福祉や医療、子育て支援などの経費である民生費(47.9%)や市の総括的な事務事業、交通安全、防犯対策等に要する経費である総務費(10.9%)、学校教育や生涯学習などの経費である教育費(13.9%)が大きく、決算額のうち439億7427万5千円(72.7%)を占めています

財政用語チェック 歳入と歳出…国または地方公共団体(県、市町村)の一会計年度におけるすべての収入と支出のことです。

(歳入の部)

- 市税…市民税や固定資産税など市民や法人が収めた税金
- 地方交付税…所得税など国が徴収した税金の中から、地方公共団体の財政状況に応じて交付されるお金
- 国・県支出金…事業などの特定の目的の財源として、国や県から交付されるお金
- 市債…道路、公園、学校などの公共施設整備のために、市が借り入れるお金
- その他…財産収入、繰入金、寄附金など
- 標準財政規模…人口、面積等から算定するその団体の標準的な一般財源の規模であり、うるま市は、およそ281億円。

(歳出の部)

- 総務費…市の総括的な事務事業、交通安全、防犯対策等に要するお金
- 民生費…児童、高齢者、障がい者などの福祉及び子育て支援に要するお金
- 土木費…道路建設や公園の整備、市営住宅の管理などに要するお金
- 教育費…幼稚園、小中学校をはじめ社会教育や文化振興などの教育全般に要するお金
- 公債費…市債の元金・利子の返済に要するお金
- その他…消防、商工業振興、議会、ごみ処理などに要するお金

一般会計市債現在高

(単位:千円、%)

借入先	平成30年度末現在高	令和元年度末現在高	構成比
政府資金	12,310,380	11,956,284	24.2
公営企業金融公庫	95,032	60,639	0.1
市中銀行	1,428,560	2,224,213	4.5
その他金融機関	8,585,229	7,270,148	14.7
共済等	885,988	724,924	1.5
地方公共団体金融機構	26,136,080	27,083,224	54.9
その他	50,368	28,957	0.1
合計	49,491,637	49,348,389	100.0

特別会計

(単位:千円、%)

会計名	予算額	収入済額	収入率	支出済額	執行率
国民健康保険	15,619,280	15,756,780	100.9	15,317,855	98.1
介護保険	10,537,445	10,502,815	99.7	10,285,843	97.6
公共下水道事業	2,464,078	2,333,922	94.7	2,285,920	92.8
農業集落排水事業	22,553	22,478	99.7	18,895	83.8
後期高齢者医療	1,039,146	1,046,641	100.7	1,038,007	99.9
合計	29,682,502	29,662,636	-	28,946,520	-

うるま市の基金現在高

(単位:千円、%)

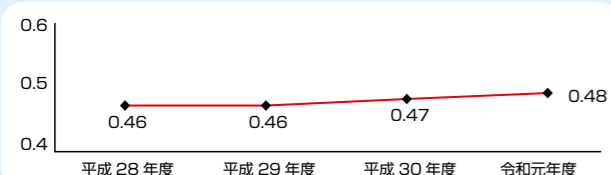
名称	平成30年度末現在高	令和元年度末現在高	構成比
財政調整基金	5,020,041	4,565,211	25.3
減債基金	6,048,143	6,069,624	33.6
地域振興基金	2,387,848	2,405,369	13.3
こどもゆめ基金	1,571,310	1,202,648	6.7
公共施設等総合管理基金	1,981,409	1,801,696	10.0
ふるさと応援寄付基金	89,790	158,124	0.9
その他	1,589,243	1,833,668	10.2
合計	18,687,784	18,036,340	100.0

市有財産の状況

土地	建物	山林	有価証券等
行政財産	行政財産	3,506,277.76 m ²	有価証券
2,368,593.94 m ²	459,760.82 m ²		23,602千円
普通財産	普通財産		出資金等
5,128,000.98 m ²	6,220.03 m ²		656,044千円
			債権
			558,347千円

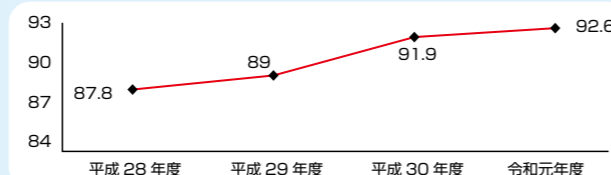
うるま市の財政指標の推移

財政力指数



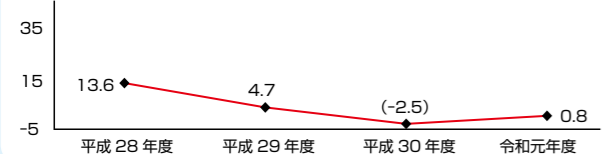
行政サービスを行うために必要な経費をどの程度自力調達できているのか、財政力の強弱を示す割合で過去3年の平均値となります。1に近いほど自主財源の割合が高く、財政力が強い団体ということになります。

経常収支比率



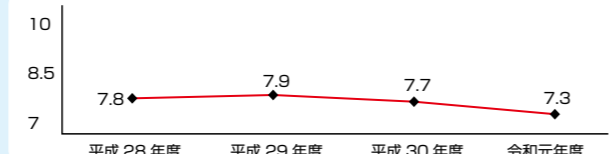
毎年度、経常的に入ってくるお金が、臨時的な支出を除いてどのくらい経常的経費(人件費、扶助費および公債費など)に使われているのかを示す割合となっています。この割合が高いほど、市が自由に使うことができるお金が少ないこととなります。

将来負担比率



将来負担比率とは、借金や今後支出が見込まれる費用などのように将来負担しなければならない費用が、1年間の収入に対してどのくらいあるのか、将来の負担が大きすぎないかを判断するために国が定めた基準です。この割合が350%を超えると黄色信号が出されることとなります。

実質公債費比率



実質公債費比率とは、1年間の収入に対して借金のその年度の返済額がどれくらいの割合になるのか、借金返済の負担が大きすぎないかをチェックするために国が定めた基準です。この割合が25%を超えると黄色信号が出され、公共事業に必要な費用の借入が制限されるなど財政の早期健全化を行うこととなります。

お問い合わせは：財政課 ☎973-6753